

政策目標3-2：財政投融资の対象として必要な事業を実施する機関の資金需要への的確な対応、ディスクロージャーの推進及び機関に対するチェック機能の充実

| | |
|----------------|---|
| <p>上記目標の概要</p> | <p>財政投融资については、国民のニーズや社会経済情勢の変化などを踏まえ、政策的な必要性や民業補完性・償還確実性を精査し、必要な資金需要に的確に対応していきます。</p> <p>さらに、財政投融资に対する国民の信頼を確保し、対象事業の重点化・効率化を図る観点から、財政投融资計画編成、運用プロセス、将来の政策コスト等に関する情報開示の推進を通じて、財政投融资に関する透明化を一層進めるとともに、財政投融资対象機関に対するチェック機能の充実を図っていきます。</p> <p>その他、財政融資資金の資産・債務管理（ALM）（用語集参照）の高度化のための施策を引き続き実施していきます。</p> <p>（上記目標を達成するための施策）</p> <p>政3-2-1：社会経済情勢等の変化を踏まえた財政投融资計画の編成</p> <p>政3-2-2：財政投融资対象機関に対する適切な審査</p> <p>政3-2-3：産業投資を活用した長期リスクマネーの供給</p> <p>政3-2-4：政策コスト分析等のディスクロージャーの推進</p> <p>政3-2-5：財政投融资対象機関に対するチェック機能の充実</p> <p>政3-2-6：貸付金の確実な回収とALMの充実等による財務の健全性の確保</p> |
|----------------|---|

政策目標3-2についての評価結果

政策目標についての評価 S 目標達成

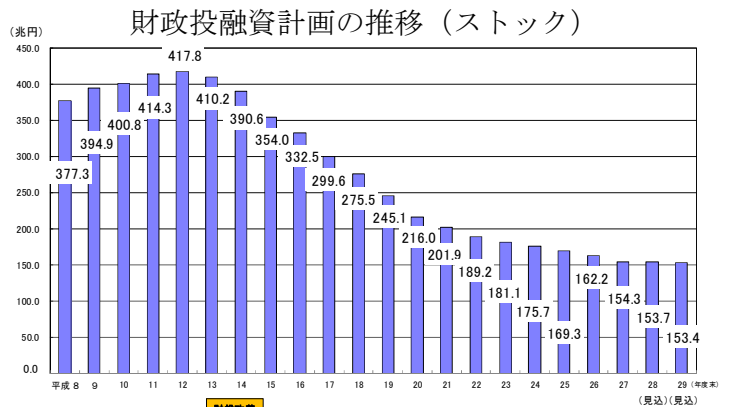
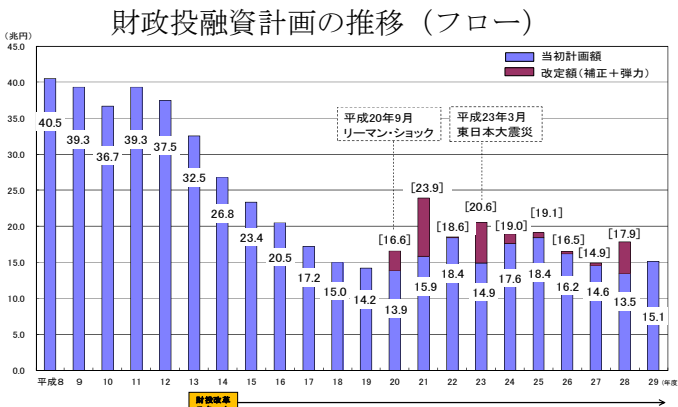
| | |
|--------------|--|
| <p>評定の理由</p> | <p>全ての施策が「s 目標達成」であるため、当該政策目標の評価は、上記のとおり、「S 目標達成」としました。</p> |
| <p>政策の分析</p> | <p>（必要性・有効性・効率性等）</p> <p>財政投融资の対象事業の重点化・効率化を図りつつ、必要な事業への資金供給を確保することは、資源配分の調整機能や経済の安定化機能を通じて、我が国経済の健全な発展を実現するために必要です。また、財政投融资のディスクロージャーを徹底することは、財政投融资に関する透明性を一層高め、国民からの信頼、市場からの信認を維持するために必要です。</p> <p>平成29年度財政投融资計画の策定にあたっては、日本経済の成長力を更に高める観点から、現下の低金利環境を活かし、リニア中央新幹線の全線開業前倒しを図るほか、インフラの海外展開支援をはじめとする成長戦略の着実な実行や地域経済活性化に向け、長期のリスクマネーを積極的に供給する一方で、真に必要な資金需要に適切に対応するため、過去の実績を踏まえ、東日本大震災への対応等について財投規模を縮減することとしました。</p> <p>政策目的を的確に達成するため、対象分野、スキーム、事業及び財投の規模等について、政策的必要性、民業補完性、有効性や償還確実性等の観点から、対象事業の重点化・効率化を図りました。</p> |

| | | | |
|--------------|---|--|-----|
| 施策 | 政3-2-1：社会経済情勢等の変化を踏まえた財政投融资計画の編成 | | |
| 測定指標（定性的な指標） | [主要]政3-2-1-B-1：社会経済情勢等の変化を踏まえた財政投融资計画の編成 | | |
| | 目標 | 平成29年度財政投融资計画の編成においては、政策的な必要性や民業補完性・償還確実性を精査し、国民のニーズや社会経済情勢の変化などを踏まえ、必要な資金需要に的確に対応していきます。 | 達成度 |
| | 実績 | <p>平成29年度財政投融资計画の策定にあたっては、日本経済の成長力を更に高める観点から、現下の低金利環境を活かし、リニア中央新幹線の全線開業前倒しを図るほか、インフラの海外展開支援をはじめとする成長戦略の着実な実行や地域経済活性化に向け、長期のリスクマネーを積極的に供給する一方で、真に必要な資金需要に適切に対応するため、過去の実績を踏まえ、東日本大震災への対応等について財投規模を縮減することとしました。この結果、29年度財政投融资計画の規模は、15兆1,282億円（28年度計画比12.2%増）となりました。</p> <p>また、財政投融资については、平成13年度の財政投融资改革以降、資産・負債の圧縮を図るとともに、民業補完の原則のもと、対象事業の重点化・効率化に取り組んだ結果、フロー（平成29年度計画額）、ストック（平成29年度末見込額）ともピーク時（それぞれ平成8年度40.5兆円及び平成12年度末417.8兆円）の約4割の水準までスリム化が進んでいます。</p> <p>なお、平成28年度においては、「未来への投資を実現する経済対策」（平成28年8月2日閣議決定）を踏まえ、現下の低金利状況を活かし、インフラ整備に対する超長期の資金供給等を行い未来への投資を加速させるため、3兆6,022億円の追加を行いました。</p> | ○ |
| | <p>（目標の設定の根拠）</p> <p>政策的な必要性や民業補完性・償還確実性を精査し、国民のニーズや社会情勢の変化などを踏まえた編成を行うことで、財政投融资を活用して政策的に必要な資金需要に的確に対応することが可能となるためです。</p> <p>（目標の達成度の判定理由）</p> <p>上記実績のとおり、社会経済情勢等の変化を踏まえ、平成29年度財政投融资計画を策定したことから、当該測定指標の達成度を「○」と評価しました。</p> | | |
| 施策についての評価 | s 目標達成 | | |
| 評価の理由 | <p>平成29年度財政投融资計画については、日本経済の成長力を更に高める観点から、現下の低金利環境を活かし、リニア中央新幹線の全線開業前倒しを図るほか、インフラの海外展開支援をはじめとする成長戦略の着実な実行や地域経済活性化に向け、長期のリスクマネーを積極的に供給する一方で、真に必要な資金需要に適切に対応するため、過去の実績を踏まえ、東日本大震災への対応等について財投規模を縮減することとしました。</p> <p>以上のとおり、測定指標が「○」であるため、当該施策の評価は、上記のとおり、「s 目標達成」としました。</p> | | |

政3-2-1に係る参考情報

- 平成29年度財政投融资計画の各分野について見ると、以下のとおりです。
 - ・ リニア中央新幹線の全線開業前倒し等については、(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構において、リニア中央新幹線の建設に係る貸付け等を行うこととし、これらのために必要な資金需要に的確に対応することとしました。
 - ・ 国際展開戦略推進については、(株) 国際協力銀行、(独) 国際協力機構、(株) 海外交通・都市開発事業支援機構、(株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構において、日本企業によるインフラ海外展開への支援等を行うこととしているほか、(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構において、資源の安定供給を確保する観点から、天然ガス、石炭、地熱及び金属鉱物に係る探鉱・開発事業等に対する支援を行うこととし、これらのために必要な資金需要に的確に対応することとしました。
 - ・ 地域活性化支援については、(株) 日本政策金融公庫において、中小企業・小規模事業者の資金繰り支援、創業・事業再生や観光需要の獲得等の地域活性化に資する取組の支援等を行うこととしているほか、(株) 日本政策投資銀行において、企業の成長に向けた積極的な取組を支援するため、成長資金の供給等を行うこととし、これらのために必要な資金需要に的確に対応することとしました。
 - ・ 教育・福祉・医療については、(独) 日本学生支援機構において、進学意欲のある学生等に対し貸付規模として所要の額を確保することとしているほか、(独) 福祉医療機構において、福祉医療サービスの基盤強化を行うこととし、これらのために必要な資金需要に的確に対応することとしました。
 - ・ 地方公共団体向けについては、地方財源の不足に対応するための臨時財政対策債が増加したこと等により地方債計画の規模が拡大する中で、地方公共団体の円滑な資金調達に的確に対応することとしました。
- 財政融資資金の資金調達に関しては、新たな貸付け及び既往の貸付けの継続に必要な財源として、平成29年度において、財投債12.0兆円の発行を予定しています。また、財政融資資金の資金繰りのため、財政融資資金証券(用語集参照)2.0兆円の発行を予定しています。
- なお、財政投融资の実行においては、時々々の社会経済情勢の変化等の影響を受け、各機関が行う事業の進捗状況や各機関の資金繰り状況などから、結果として実勢が計画額を下回る場合があります。

参考指標1：「財政投融资計画の推移(フロー、ストック)」



(注) 1. 当初計画ベース、平成20年度から平成29年度の[]は補正・弾力による改定後。
2. 平成12年度以前は、一般財政投融资ベース。

(注) 平成27年度までは実績。平成28年度以降は、平成28年12月時点の見込であり、今後異同を生ずることがある。

(http://www.mof.go.jp/filp/reference/filp_statistics/gaku_suii.pdf)

(http://www.mof.go.jp/filp/reference/filp_statistics/zandaka_suii.pdf)

参考指標 2 : 「財政投融资計画及び実績（機関別）」

参考指標 3 : 「財政投融资計画（機関別）の推移」

（単位：億円）

| 区 分 | 平成27年度 | | 平成28年度 改定後計画 | 平成29年度 当初計画 |
|------------------------|---------|---------|-----------------|----------------|
| | 改定後計画 | 実績 | | |
| 1. リニア中央新幹線の全線開業前倒し等 | | | | 15,294 |
| (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 559 | 394 | 23,721 | 15,294 |
| 2. 国際展開戦略推進 | 13,607 | 9,657 | 25,763 | 24,440 |
| (株) 国際協力銀行 | 7,500 | 6,616 | 17,090 | 16,660 |
| (独) 国際協力機構（有償資金協力業務） | 4,366 | 2,973 | 4,680 | 5,487 |
| (株) 海外交通・都市開発事業支援機構 | 712 | — | 1,045 | 1,137 |
| (株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構 | 200 | 19 | 679 | 416 |
| (株) 海外需要開拓支援機構 | 100 | — | 200 | 210 |
| (独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 | 729 | 50 | 2,069 | 530 |
| 3. 地域活性化支援 | 62,929 | 42,338 | 61,050 | 49,207 |
| うち (株) 日本政策金融公庫 | 47,610 | 29,678 | 42,950 | 36,140 |
| (国民一般向け業務) | 21,300 | 17,280 | 20,840 | 19,380 |
| (中小企業者向け業務) | 14,100 | 9,545 | 12,900 | 11,190 |
| (農林水産業者向け業務) | 2,390 | 1,790 | 2,740 | 2,350 |
| (特定事業等促進円滑化業務) | 1,500 | 11 | 1,000 | 500 |
| (危機対応円滑化業務) | 8,320 | 1,052 | 5,470 | 2,720 |
| (株) 日本政策投資銀行 | 7,150 | 7,090 | 12,000 | 7,000 |
| (独) 都市再生機構 | 4,720 | 4,524 | 4,173 | 4,420 |
| 沖縄振興開発金融公庫 | 707 | 694 | 1,069 | 845 |
| (株) 商工組合中央金庫 | 260 | 233 | 230 | 240 |
| (株) 農林漁業成長産業化支援機構 | 50 | — | 50 | 130 |
| 4. 教育・福祉・医療 | 14,179 | 13,943 | 14,576 | 12,197 |
| うち (独) 日本学生支援機構 | 7,797 | 7,797 | 7,944 | 7,003 |
| (独) 福祉医療機構 | 4,608 | 4,462 | 4,765 | 3,531 |
| 5. 地 方 | 42,448 | 39,517 | 42,043 | 34,730 |
| 地方公共団体 | 35,248 | 32,317 | 36,443 | 28,680 |
| 地方公共団体金融機構 | 7,200 | 7,200 | 5,600 | 6,050 |
| 6. その他機関 | 15,412 | 13,641 | 11,788 | 15,414 |
| うち (独) 日本高速道路保有・債務返済機構 | 12,510 | 12,510 | 9,560 | 13,850 |
| (独) 住宅金融支援機構 | 2,100 | 396 | 1,658 | 931 |
| 合 計 | 149,134 | 119,490 | 178,941 | 151,282 |

（出所）理財局財政投融资総括課調

（注）平成27年度実績は、平成27年度の決算時の見込値である。

参考指標4：「財政投融资計画残高（機関別）」

（単位：億円）

| 区 分 | 財政投融资計画残高 | | |
|----------------------|----------------|----------------|----------------|
| | 平成28年度末 見 込 | 平成29年度末 見 込 | 増 減 (29-28) |
| 1. リニア中央新幹線の全線開業前倒し等 | | 43,197 | 43,197 |
| (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 28,379 | 43,197 | 14,819 |
| 2. 国際展開戦略推進 | 100,976 | 112,745 | 11,769 |
| (株)国際協力銀行 | 73,803 | 79,729 | 5,926 |
| (独)国際協力機構（有償資金協力業務） | 20,653 | 24,210 | 3,556 |
| (株)海外交通・都市開発事業支援機構 | 1,195 | 2,332 | 1,137 |
| (株)海外通信・放送・郵便事業支援機構 | 698 | 1,114 | 416 |
| (株)海外需要開拓支援機構 | 616 | 826 | 210 |
| (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 | 4,011 | 4,535 | 523 |
| 3. 地域活性化支援 | 358,004 | 358,231 | 227 |
| うち(株)日本政策金融公庫 | 160,026 | 160,053 | 27 |
| (国民一般向け業務) | 60,450 | 62,252 | 1,802 |
| (中小企業者向け業務) | 48,479 | 48,294 | △ 185 |
| (農林水産業者向け業務) | 21,004 | 21,637 | 633 |
| (特定事業等促進円滑化業務) | 1,672 | 2,053 | 381 |
| (危機対応円滑化業務) | 28,421 | 25,817 | △ 2,604 |
| (株)日本政策投資銀行 | 87,369 | 87,128 | △ 241 |
| (独)都市再生機構 | 102,302 | 101,718 | △ 584 |
| 沖縄振興開発金融公庫 | 5,447 | 5,670 | 223 |
| (株)商工組合中央金庫 | 1,614 | 1,854 | 240 |
| (株)農林漁業成長産業化支援機構 | 350 | 480 | 130 |
| 4. 教育・福祉・医療 | 107,604 | 111,584 | 3,980 |
| うち(独)日本学生支援機構 | 59,631 | 61,492 | 1,860 |
| (独)福祉医療機構 | 32,893 | 34,333 | 1,441 |
| 5. 地 方 | 641,558 | 635,209 | △ 6,349 |
| 地方公共団体 | 563,176 | 559,998 | △ 3,178 |
| 地方公共団体金融機構 | 78,382 | 75,211 | △ 3,172 |
| 6. その他機関 | 281,655 | 256,847 | △ 24,807 |
| うち(独)日本高速道路保有・債務返済機構 | 196,453 | 185,822 | △ 10,631 |
| (独)住宅金融支援機構 | 72,627 | 58,926 | △ 13,701 |
| 7. 残高のみの機関等 | 18,931 | 15,854 | △ 3,078 |
| 合 計 | 1,537,107 | 1,533,667 | △ 3,440 |

（出所）理財局財政投融资総括課調

（注）この計数は、平成28年12月時点の見込みであり、今後異動を生ずることがある。

参考指標5：「財投債の種類別発行予定額の推移」

(収入金ベース、単位：億円)

| 区 分 | | 28年度 | 28年度 (2次補正後) | 29年度 |
|------|------------|----------------|-----------------|----------------|
| 市中消化 | 40年債 | 500 | 7,500 | 6,000 |
| | 30年債 | 800 | 9,100 | 9,000 |
| | 20年債 | 5,250 | 13,450 | 500 |
| | 15年変動利付債 | - | - | - |
| | 10年債 | 38,550 | 44,600 | 34,500 |
| | 10年物価連動債 | - | - | - |
| | 5年債 | 57,750 | 58,450 | 40,000 |
| | 2年債 | 62,150 | 62,900 | 30,000 |
| | 合 計 | 165,000 | 196,000 | 120,000 |

(出所)「財政投融资レポート2016」等(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)
(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.html)

参考資料6：「財投債の発行年度別償還年次表」

(単位：億円)

| 区 分 | 平成28年度発行分 | 平成29年度発行分 | 計 |
|------------|----------------|----------------|----------------|
| 平成 30 年度 | 62,712 | - | 129,187 |
| 31 | - | 30,000 | 135,335 |
| 32 | - | - | 90,813 |
| 33 | 58,150 | - | 117,389 |
| 34 | - | 40,000 | 92,490 |
| 35 | - | - | 43,697 |
| 36 | - | - | 51,403 |
| 37 | - | - | 35,306 |
| 38 | 44,397 | - | 64,559 |
| 39 | - | 34,500 | 46,539 |
| 40 | - | - | 12,024 |
| 41 | - | - | 12,669 |
| 42 | - | - | 15,383 |
| 43 | - | - | 11,132 |
| 44 | - | - | 8,509 |
| 45 | - | - | 8,986 |
| 46 | - | - | 7,420 |
| 47 | - | - | 4,183 |
| 48 | 13,445 | - | 17,823 |
| 49 | - | 500 | 2,625 |
| 50 | - | - | 1,005 |
| 51 | - | - | 190 |
| 52 | - | - | 1,213 |
| 53 | - | - | 1,085 |
| 54 | - | - | 201 |
| 55 | - | - | 1,088 |
| 56 | - | - | 701 |
| 57 | - | - | - |
| 58 | 9,100 | - | 9,100 |
| 59 | - | 9,000 | 9,000 |
| 60 | - | - | - |
| 61 | - | - | - |
| 62 | - | - | - |
| 63 | - | - | - |
| 64 | - | - | - |
| 65 | - | - | - |
| 66 | - | - | 368 |
| 67 | 2,587 | - | 2,587 |
| 68 | 5,200 | - | 5,200 |
| 69 | - | 6,000 | 6,000 |
| 合 計 | 195,593 | 120,000 | 945,225 |

(出所) 理財局財政投融资総括課調

(注) 本表は、平成29年度末現在高見込額についての償還年次表である。

参考指標 7 : 「財投機関債の発行予定額の推移」

(単位:億円)

| 機 関 名 | 金 額 | |
|-----------------------|--------|--------|
| | 28年度 | 29年度 |
| 独立行政法人住宅金融支援機構 | 23,386 | 23,379 |
| 株式会社日本政策投資銀行 | 4,000 | 5,000 |
| 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 | 2,500 | 3,700 |
| 株式会社日本政策金融公庫 | 2,937 | 3,030 |
| 株式会社商工組合中央金庫 | 2,660 | 2,649 |
| 独立行政法人日本学生支援機構 | 1,200 | 1,200 |
| 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 1,035 | 1,047 |
| 独立行政法人都市再生機構 | 600 | 900 |
| 独立行政法人国際協力機構 | 600 | 800 |
| 株式会社国際協力銀行 | 200 | 600 |
| 新関西国際空港株式会社 | 4 | 600 |
| 沖縄振興開発金融公庫 | 250 | 300 |
| 独立行政法人福祉医療機構 | 200 | 300 |
| 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 | 50 | 50 |
| 独立行政法人水資源機構 | 40 | 40 |
| 中部国際空港株式会社 | 149 | — |
| 合 計 | 39,811 | 43,595 |
| うち 普 通 社 債 | 20,935 | 25,484 |
| 資 産 担 保 証 券 | 18,876 | 18,111 |

(出所) 理財局財政投融資総括課資料 (<http://www.mof.go.jp/filp/plan/fy2017/h29seifuan/zt006.pdf>)

(注) 各年度の金額は、財政投融資当初計画策定時の予定額である。

| 施策 | 政 3 - 2 - 2 : 財政投融資対象機関に対する適切な審査 | |
|------------------|--|--|
| 測定指標 (定性的な指標) | [主要]政3-2-2-B-1: 政策的必要性・有効性、民業補完性、償還確実性等の審査 | |
| | 目 標 | 対象分野、スキーム、事業及び財投の規模等について、民業補完性の確保、事業等の有効性、事業等の進捗状況・収支状況等の把握を通じた償還確実性の担保といった観点からの適切な審査を行うことにより、その内容を平成29年度の財政投融資計画に反映させます。 |
| | 実 績 | 平成29年度財政投融資計画要求の審査にあたっては、リニア中央新幹線の全線開業前倒しを図るほか、インフラの海外展開支援をはじめとする成長戦略の着実な実行や地域活性化など、真に必要な資金需要に的確に対応することとし、政府として支援するにふさわしい分野かといった政策的必要性、民間金融機関では対応が困難かといった民業補完性、採算性があるかといった償還確実性等の審査により、対象事業の重点化・効率化を図りました。 |
| | (目標の設定の根拠) | |
| | 財政投融資計画の要求について、政策的必要性・有効性、民業補完性、償還確実性等の観点から審査を行うことにより、国民のニーズや社会経済情勢の変化などに応じた財政投融資計画を編成することが可能となるためです。 | |
| | (目標の達成度の判定理由) | |
| | 上記実績のとおり、平成29年度財政投融資計画の策定にあたって、政策的必要性、民業補完性や償還確実性等の審査により、対象事業の重点化・効率化を図っていることから、当該測定指標の達成度を「○」と評価しました。 | 達成度 |

| | | | |
|------------------------|---|--|-----|
| [主要]政3-2-2-B-2：政策評価の活用 | | | |
| 測定指標 (定性的な指標) | 目標 | <p>各省庁・機関においては、平成29年度財政投融资計画の要求を行うにあたり、要求内容について事前に自ら政策評価を行い、要求に際して政策評価の結果を合わせて提出することとします。要求内容の審査にあたっては、各省庁・機関から提出された政策評価を積極的に活用します。</p> | 達成度 |
| | 実績 | <p>各省庁・機関においては、平成29年度財政投融资計画要求を行うにあたり、要求内容について事前に自ら政策評価を行い、要求に際して政策評価の結果を合わせて提出しました。要求内容の審査にあたっては、各省庁・機関から提出された政策評価を積極的に活用し、審査における政策評価の活用事例は、財務省ホームページに掲載しました。</p> | ○ |
| | <p>(目標の設定の根拠)</p> <p>財政投融资計画の要求内容の審査にあたり、政策評価を活用することにより、どの分野、どの事業を財政投融资の対象とするかについて、民業補完性や償還確実性等の観点から見直しを行うことが可能となるためです。</p> <p>(目標の達成度の判定理由)</p> <p>上記実績のとおり、平成29年度財政投融资計画要求の審査に際し、各省庁・機関から提出された政策評価を積極的に活用したことから、当該測定指標の達成度を「○」と評価しました。</p> | | |
| 施策についての評価 | | s 目標達成 | |
| 評価の理由 | <p>平成29年度財政投融资計画の策定にあたっては、政策的必要性、民業補完性や償還確実性等の審査により、対象事業の重点化・効率化を図りました。また、平成29年度財政投融资計画要求の審査にあたっては、各省庁・機関から提出された政策評価を積極的に活用しました。さらに、審査における政策評価の活用事例については、財務省ホームページに掲載し公表しました。</p> <p>以上のとおり、全ての測定指標が「○」であるため、当該施策の評価は、上記のとおり、「s 目標達成」と評価しました。</p> | | |

政3-2-2に係る参考情報

平成29年度予算編成等における政策評価の活用状況

(https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/policy_evaluation/proceedings/material/59hyoukakon4.pdf)

平成29年度財政投融资計画編成における政策評価の活用

(https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/policy_evaluation/proceedings/material/59hyoukakon4-2.pdf)

参考指標 1 「財政融資資金の各機関への融通条件」

参考指標 2 「地方公共団体向け財政融資資金の各事業毎の融通条件」

| 機関名 | 償還期限 |
|-------------------------------|---|
| エネルギー対策特別会計 | 13年以内〔2年以内〕 |
| (株)日本政策金融公庫 (国民一般向け業務) | 5年以内 ただし、① 平成29年度における貸付けのうち3,530億円については、9年以内、300億円については、15年以内 ② 挑戦支援資本強化特例制度に係る貸付けについては、7年以内(満期一括償還) |
| (株)日本政策金融公庫 (中小企業者向け業務) | 5年以内 ただし、① 5年経過ごと金利見直し貸付に係る貸付けについては、5年以内(満期一括償還)とすることができる。 ② 平成29年度における貸付けのうち2,700億円については、10年以内 ③ 挑戦支援資本強化特例制度に係る貸付けについては、7年以内(満期一括償還) |
| (株)日本政策金融公庫 (農林水産業者向け業務) | 20年以内〔3年以内〕 ただし、平成29年度における貸付けのうち1,490億円については、10年以内 |
| (株)日本政策金融公庫 (特定事業等促進円滑化業務) | ① 特定事業促進円滑化業務に係る貸付けについては、20年以内〔3年以内〕 ただし、平成29年度における貸付けのうち20億円については、15年以内〔3年以内〕 ② 事業再編促進円滑化業務に係る貸付けについては、15年以内〔3年以内〕 ただし、平成29年度における貸付けのうち480億円については、20年以内〔3年以内〕 ③ 特定事業促進円滑化業務及び事業再編促進円滑化業務に係る貸付けのうち、15年以内〔3年以内〕及び20年以内〔3年以内〕の貸付金額については、共通する償還期限毎に合算した貸付金額の総額の範囲内で増額することができる。 ただし、その場合は増額していない業務の貸付金額から同額を減額する。 |
| (株)日本政策金融公庫 (危機対応円滑化業務) | 20年以内〔3年以内〕 ただし、① 指定金融機関(株式会社日本政策金融公庫法(平19法57)第11条第2項に規定する指定金融機関をいう。以下同じ。)への貸付条件を15年以内〔3年以内〕とする貸付に係る貸付けについては、15年以内〔3年以内〕 ② 指定金融機関への貸付条件を10年以内〔2年以内〕とする貸付に係る貸付けについては、10年以内〔2年以内〕 ③ 指定金融機関への貸付条件を10年以内(満期一括償還)とする貸付に係る貸付けについては、10年以内(満期一括償還) ④ 指定金融機関への貸付条件を7年以内〔2年以内〕とする貸付に係る貸付けについては、7年以内〔2年以内〕 ⑤ 指定金融機関への貸付条件を7年以内(満期一括償還)とする貸付に係る貸付けについては、7年以内(満期一括償還) ⑥ 指定金融機関への貸付条件を5年以内〔1年以内〕とする貸付に係る貸付けについては、5年以内〔1年以内〕 ⑦ 指定金融機関への貸付条件を5年以内(満期一括償還)とする貸付に係る貸付けについては、5年以内(満期一括償還) |
| (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(建設勘定) | 25年以内〔3年以内〕 ただし、借換に係る貸付けのうち ① 鉄道施設に係る譲渡代金の回収期間が10年以上のものについては、10年以内〔1年以内〕 ② 鉄道施設に係る譲渡代金の回収期間が5年以上10年未満のものについては、5年以内〔1年以内〕 |
| (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(海事勘定) | 13年以内〔1年以内〕 |
| (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(助成勘定) | 40年以内〔30年以内〕 |
| 地方公共団体 | 25年以内〔5年以内〕 ただし、特に必要と認められるものについては、償還期限を40年まで延長することができる。 |
| (株)日本政策投資銀行 | 15年以内〔3年以内〕 ただし、平成29年度における貸付けのうち1,800億円については、20年以内〔3年以内〕 |

(出所) 平成29年度財政融資資金融通条件 (平成28年12月21日財政投融資分科会提出資料)

(注1) [] 内は据置期間

(注2) 上記は全機関の一部を例示したものであり、詳細については、財務省HP

(http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_filp/proceedings/material/zaitoa281221/1-3.pdf) 参照

| 施策 | 政3-2-3：産業投資を活用した長期リスクマネーの供給 | |
|------------------|-------------------------------------|---|
| 測定指標 (定性的な指標) | [主要]政3-2-3-B-1：産業投資を活用した長期リスクマネーの供給 | |
| | 目標 | 平成29年度財政投融資計画の編成において、産業投資については、投資によって長期リスクマネーを供給し、リターンが期待できるものの、リスクが高く民間だけでは十分に資金が供給されない事業を支援していきます。 その際、出資者として、官民ファンドに対しガバナンスの強化を求めていきます。 |
| | 実績 | 平成29年度財政投融資計画における産業投資において、インフラの海外展開支援をはじめとする成長戦略の着実な実行や地域活性化に向け、長期のリスクマネーを積極的に供給することとしました。なお、出資に際しては、事業の進捗等を踏まえて実行しています。 |
| | 達成度 | ○ |

| | | | |
|-------------------------|--|--|--|
| | | <p>また、出資者として、「官民ファンドの運営に係るガイドライン」（平成25年9月27日関係閣僚会議決定）を踏まえ、政策目的の実現及び出資の毀損の回避の観点から、官民ファンドに対し、投資内容及び投資実行後の状況等についての適時適切な報告など、ガバナンスの強化を求めました。</p> | |
| | <p>（目標の設定の根拠） 産業投資については、民間投資を活性化させる呼び水として、長期リスクマネーを供給することが重要なためです。</p> <p>（目標の達成度の判定理由） 上記実績のとおり、平成29年度財政投融资計画における産業投資について、リスクマネーを供給し、また官民ファンドに対しガバナンスの強化を求めたことから、当該測定指標の達成度を「○」としました。</p> | | |
| <p>施策についての評価</p> | <p>s 目標達成</p> | | |
| <p>評価の理由</p> | <p>平成29年度財政投融资計画において、産業投資を活用して長期リスクマネーを積極的に供給するとともに、出資者として、官民ファンドに対しガバナンスの強化を求めました。</p> <p>以上のとおり、測定指標が「○」であるため、当該施策の評価は、上記のとおり、「s 目標達成」としました。</p> | | |

政 3 - 2 - 3 に係る参考情報

平成29年度財政投融资計画産業投資の概要

(<http://www.mof.go.jp/filp/plan/fy2017/h29seifuan/zt004.pdf>)

| 施策 | 政3-2-4：政策コスト分析等のディスクロージャーの推進 | | | | | | | |
|--|---|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 測定指標（定量的な指標） | [主要]政3-2-4-A-1：財政投融资関係の定期的な資料の公表及び内容の充実 | | | | | | | |
| | 年度 | 作成頻度 | 平成24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 達成度 |
| | 財政投融资リポート | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | ○ |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| | FILP REPORT | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| | 財政投融资リポート （別冊） | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| | FILP REPORT （Extension Volume） | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| | 財政金融統計月報 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| | 財政融資資金現在高 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 月1回 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | |
| | 産業投資現在高 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 月1回 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | |
| | 財政融資資金預託金 利・貸付金利 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 月1回 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | |
| | 翌年度財政投融资計 画要求 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | |
| | | 年1回 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | 1/1 | |
| 財政投融资計画月別 実行状況 | 目標値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | | |
| | 月1回 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | 12/12 | | |
| 財政投融资リポートの 内容の充実に向けた取組 （トピック等を解説する コラム） | | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | | |
| | | 10/10 | 13/13 | 15/13 | 16/15 | 13/15 | | |
| (注) 実績値／目標値で記載しています。 | | | | | | | | |
| (目標値の設定の根拠) | | | | | | | | |
| 財政投融资に関する透明性を一層高め、国民からの信頼、市場からの信認を維持するため、財政投融资計画の編成及び運用、財政融資資金の資産・負債の状況等に関して情報開示を行うことが重要です。 | | | | | | | | |
| (目標の達成度の判定理由) | | | | | | | | |
| 財政投融资リポートの内容の充実に向けた取組（トピック等を解説するコラム）については、従来コラムとしていたもの（「財政融資の沿革」等、計3件）を本文の内容を充実させる観点から、本文に記載 | | | | | | | | |

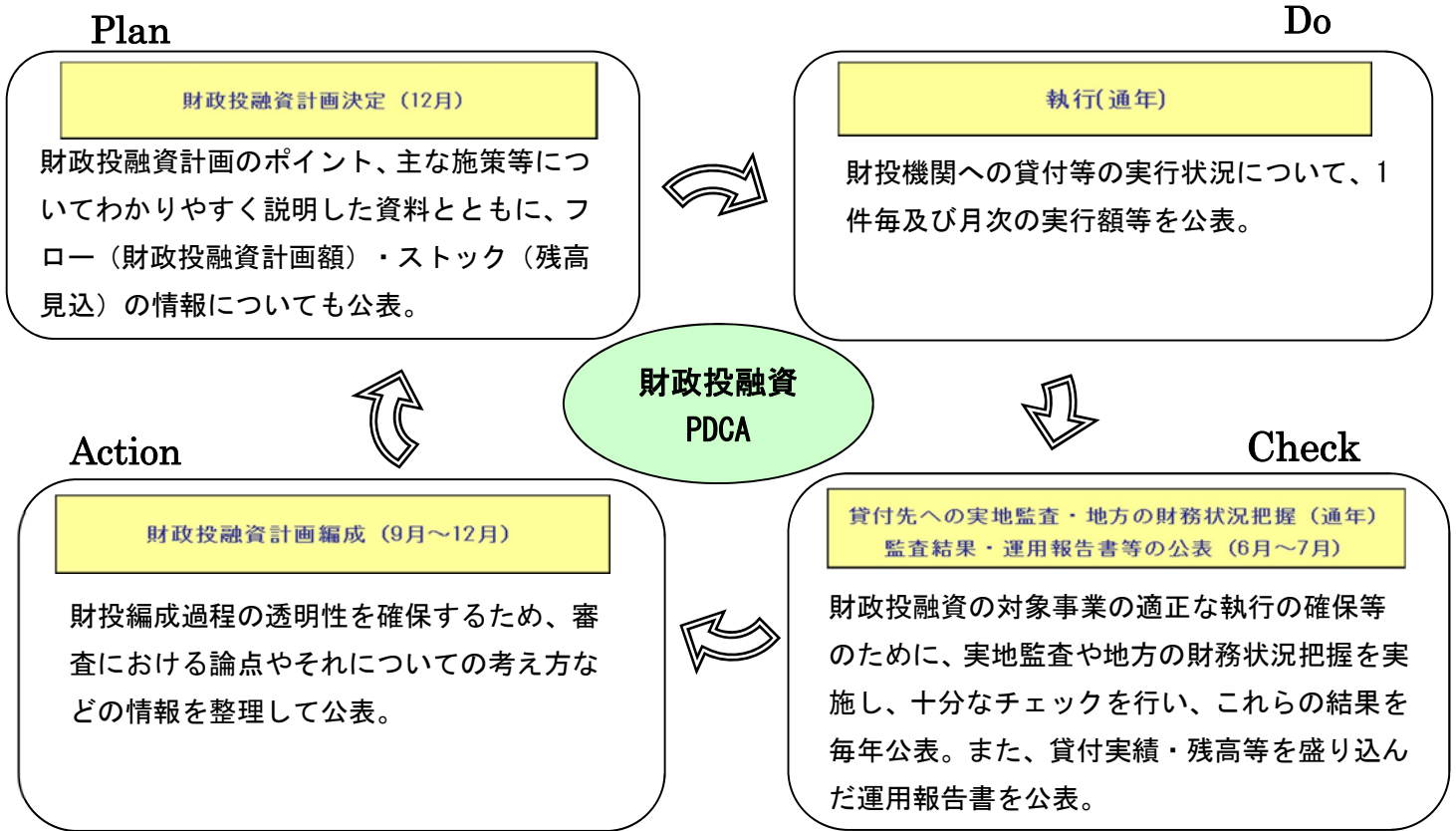
| | | | |
|------------------|---|--|-----|
| | <p>したことに伴うものであり、実質的に目標を達成していることから、当該測定指標の達成度は「○」と評価しました。なお、コラムには「低金利状況を活かした財政投融資の積極的な活用」といった最新の情報を盛り込み、充実を図っています。</p> | | |
| 測定指標 (定性的な指標) | [主要]政3-2-4-B-1：政策コスト分析の充実 | | |
| | 目標 | 財政投融資対象の全機関において政策コスト分析（用語集参照）の実施及び公表内容の充実に努めます。 | 達成度 |
| | 実績 | 財政投融資を活用している事業について、財政投融資対象の全機関が一定の前提条件を設定して試算した政策コストを取りまとめ、その結果を公表しました。また、感応度分析（金利や事業収入等の前提条件の一部が変化した場合に、政策コストがどれだけ増減するかを試算したもの）の中で、金利を1%上昇させた場合の試算について、全機関において実施したことにより比較可能性を高めるなど、公表内容の充実に努めました。 | ○ |
| | <p>(目標の設定の根拠) 政策コスト分析の充実は、財政投融資の透明性を高める観点から重要であるためです。</p> <p>(目標の達成度の判定理由) 上記実績のとおり、財政投融資を活用している事業について、財政投融資対象の全機関の政策コストを公表するとともに、公表内容の充実に努めたことから、当該測定指標の達成度を「○」と評価しました。</p> | | |
| 施策についての評定 | | s 目標達成 | |
| 評定の理由 | <p>財政投融資について、国民の理解を深め、その運営についてのチェックを容易にする観点から、PDCAの各段階において、わかりやすい情報発信や透明性の確保に努めています。また、財政投融資を活用している事業について、財政投融資対象の全機関の政策コストの分析結果を取りまとめ、その結果を公表するとともに、公表内容の充実に努めました。</p> <p>以上のとおり、全ての測定指標が「○」であるため、当該施策の評定は、上記のとおり、「s 目標達成」としました。</p> | | |

政3-2-4に係る参考情報

「財政投融資レポート2016別冊・財政投融資対象事業に関する政策コスト分析（平成28年度）」

(http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_filp/report/zaitoa280726p.pdf)

財政投融資の透明性の確保への取組



(出所) 理財局財政投融資総括課

- 平成28年度においては、①財政投融資計画決定時に、重点分野をわかりやすく説明した「財政投融資計画参考資料」や財投機関別の残高見込を記載した「財政投融資計画残高見込」等の公表（Plan）、②財政投融資の貸付けなどの実行状況の月次別・一件別の公表（Do）、③従来の財務局等が行う実地監査に加えて、地方公営企業の病院事業について、本省実地監査官が財務局等と連携して、監査を実施（Check）、④編成過程における審査の論点や審査当局の考え方について整理した情報の公表（Action）、などに取り組みました。また、「財政投融資レポート」や、財政融資資金の月々の資産・負債の概要を示している「財政融資資金月報」は、多くの人が手軽にアクセスできるよう、財務省ホームページ（<http://www.mof.go.jp/filp/publication/index.html>）に掲載しています。

参考指標 1 : 「政策コスト分析」

(単位：億円)

| 機 関 名 | 政策コスト (28年度) | ① 分析期首までに投入された出資金等の機会費用分 | |
|---------------------|-----------------|--------------------------|----------|
| | | ② 分析期間中に新たに見込まれる政策コスト | |
| (株) 日本政策金融公庫 | 8,623 | 10,769 | △ 2,146 |
| (株) 国際協力銀行 | 898 | 4,458 | △ 3,560 |
| (独) 国際協力機構 | 3,309 | 35,001 | △ 31,693 |
| (独) 日本学生支援機構 | 1,142 | 0 | 1,142 |
| (独) 国立病院機構 | 1,935 | 652 | 1,284 |
| (独) 住宅金融支援機構 | 675 | 40 | 635 |
| (独) 都市再生機構 | △ 30,351 | 5,024 | △ 35,375 |
| (独) 日本高速道路保有・債務返済機構 | 16,867 | 16,478 | 389 |
| (独) 水資源機構 | 797 | 26 | 770 |
| 地方公共団体金融機構 | △ 4,976 | — | △ 4,976 |
| (国研) 森林総合研究所 | 6,763 | 5,460 | 1,302 |
| (株) 日本政策投資銀行 | △ 2,712 | 3,940 | △ 6,652 |
| 新関西国際空港 (株) | △ 517 | 441 | △ 958 |
| 中部国際空港 (株) | △ 503 | 104 | △ 607 |
| その他11機関 | 416 | 1,179 | △ 763 |

(出所) 理財局財政投融资総括課

「財政投融资レポート2016別冊・財政投融资対象事業に関する政策コスト分析 (平成28年度)」

(http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_filp/report/zaitoa280726p.pdf)

(注) マイナス (△) の政策コストは、分析期間全体を通じて、国への納付金・配当金等の現在価値の合計が、国から投入される補助金等と出資金等の機会費用の現在価値の合計を上回ることを示しています。

参考指標 2 : 「財政投融资特別会計財政融資資金勘定の損益計算書・貸借対照表」

■ 損益計算書

(単位：億円)

| 損失 | | | 利益 | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 科目 | 平成26年度 | 平成27年度 | 科目 | 平成26年度 | 平成27年度 |
| 諸支出金 | 3,834 | 3,069 | 資金運用収入 | 20,086 | 16,839 |
| 事務取扱費 | 51 | 55 | 雑収入等 | 42 | 33 |
| 公債金利子等 | 12,468 | 10,568 | | | |
| 本年度利益 | 3,776 | 3,180 | | | |
| 合計 | 20,128 | 16,872 | 合計 | 20,128 | 16,872 |

■貸借対照表

(単位：億円)

| 借方 | | | 貸方 | | |
|-------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 科目 | 平成26年度末 | 平成27年度末 | 科目 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
| 現金預金 | 1,236 | 48,326 | 預託金 | 411,810 | 367,142 |
| 有価証券 | 65,573 | 2,616 | 公債等 | 993,156 | 964,522 |
| 貸付金 | 1,345,644 | 1,284,244 | 金利変動準備金 | 6,290 | 2,566 |
| 未収収益等 | 2,578 | 4,840 | 本年度利益 | 3,776 | 3,180 |
| 合計 | 1,415,031 | 1,337,410 | 合計 | 1,415,031 | 1,337,410 |

(出所)「財政投融资レポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)

(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm)

参考指標3：「財政融資資金の保有有価証券の期末残高の推移」

(単位：億円[構成比：%])

| 区分 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
|--------|----------------|---------------|
| 国債 | 62,957 [96.0] | - [0.0] |
| 外国債 | 400 [0.6] | 400 [15.3] |
| 信託受益権等 | 2,216 [3.4] | 2,216 [84.7] |
| 合計 | 65,573 [100.0] | 2,616 [100.0] |

(出所)「財政投融资レポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)

(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm)

参考指標4：「財政融資資金の保有有価証券の残存期間別残高の推移」

(単位：億円)

| 区分 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
|---------|---------|---------|
| 1年以下 | 62,957 | 400 |
| 1年超2年以下 | 400 | 250 |
| 2年超3年以下 | 250 | 1,966 |
| 3年超4年以下 | 1,966 | - |
| 合計 | 65,573 | 2,616 |

(出所)「財政投融资レポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)

(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm)

参考指標 5 : 「財政融資資金の預託者別期末残高の推移」

(単位：億円[構成比：%])

| 区分 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 労働保険特別会計 | 133,230 [32.4] | 134,960 [36.8] |
| 年金特別会計 | 90,696 [22.0] | 83,839 [22.8] |
| 外国為替資金 | 80,774 [19.6] | 48,070 [13.1] |
| 共済組合 | 39,813 [9.7] | 35,380 [9.6] |
| 株式会社日本政策金融公庫 | 25,478 [6.2] | 20,058 [5.5] |
| 地震再保険特別会計 | 11,486 [2.8] | 12,830 [3.5] |
| 貿易再保険特別会計 | 9,172 [2.2] | 9,955 [2.7] |
| 雇用安定資金 | 6,045 [1.5] | 8,329 [2.3] |
| 財政投融资特別会計 | 6,150 [1.5] | 4,896 [1.3] |
| 自動車安全特別会計 | 2,761 [0.7] | 2,674 [0.7] |
| その他 | 6,206 [1.5] | 6,149 [1.7] |
| 合計 | 411,810 [100.0] | 367,142 [100.0] |

(出所)「財政投融资リポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)

(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm)

参考指標 6 : 「財政融資資金の預託金の残存期間別残高の推移」

(単位：億円)

| 区分 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
|----------|---------|---------|
| 1年未満 | 226,033 | 208,448 |
| 1年以上2年未満 | 50,256 | 30,897 |
| 2年以上3年未満 | 25,925 | 12,956 |
| 3年以上4年未満 | 12,822 | 7,777 |
| 4年以上5年未満 | 7,382 | 11,076 |
| 5年以上6年未満 | 9,067 | 7,980 |
| 6年以上7年未満 | 6,427 | 7,746 |
| 7年以上 | 73,898 | 80,262 |
| 合計 | 411,810 | 367,142 |

(出所)「財政投融资リポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)

(http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm)

参考指標 7 : 「財政投融资特別会計財政融資資金勘定の資金運用・調達における平均残高の推移」

(単位：億円)

| 区分 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 資金運用 | 1,427,129 | 1,368,818 |
| うち貸付金 | 1,370,200 | 1,314,271 |
| うち有価証券 ^(注) | 54,488 | 29,669 |
| 資金調達 | 1,420,067 | 1,358,455 |
| うち預託金 | 412,337 | 387,439 |
| うち公債金 | 1,007,672 | 971,016 |

(出所) 「財政投融资リポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm
 (注) 有価証券には購入証券経過利子を含みます。

参考指標 8 : 「財政投融资特別会計投資勘定の損益計算書・貸借対照表」

■損益計算書

(単位：億円)

| 損失 | | | 利益 | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 科目 | 平成26年度 | 平成27年度 | 科目 | 平成26年度 | 平成27年度 |
| 事務取扱費 | 1 | 1 | 貸付金利息 | 0 | 0 |
| 出資金償却損 | — | 264 | 配当金・納付金 | 2,586 | 5,352 |
| 雑損等 | 3 | 3,000 | 株式処分益 | 2,192 | — |
| 本年度利益 | 4,774 | 2,088 | 預託金利子等 | 1 | 1 |
| 合計 | 4,779 | 5,353 | 合計 | 4,779 | 5,353 |

■貸借対照表

(単位：億円)

| 借方 | | | 貸方 | | |
|------|---------|---------|----------|---------|---------|
| 科目 | 平成26年度末 | 平成27年度末 | 科目 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
| 現金預金 | 6,155 | 5,036 | 資本 | 28,272 | 28,272 |
| 貸付金 | 1,323 | 1,379 | 利益積立金 | 23,349 | 25,822 |
| 土地等 | 0 | 0 | 本年度利益 | 4,774 | 2,088 |
| 出資金 | 129,683 | 144,440 | 固定資産評価差益 | 80,766 | 94,673 |
| 合計 | 137,161 | 150,855 | 合計 | 137,161 | 150,855 |

(出所) 「財政投融资リポート2016」(平成28年8月 理財局財政投融资総括課)
http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/zaito2016/index.htm

参考指標 9 : 「財政投融资に関するホームページへのアクセス件数の推移」

(単位：件)

| | 平成24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| アクセス件数 | 154,383 | 126,243 | 134,576 | 111,143 | 119,709 |

(出所) 理財局財政投融资総括課調

| 施策 | 政3-2-5：財政投融资対象機関に対するチェック機能の充実 | | | | | | | |
|--------------|---|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 測定指標（定量的な指標） | [主要]政3-2-5-A-1：実地監査結果 | | | | | | | |
| | 独立行政法人等 | | 平成24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 達成度 |
| | | 目標値（％） | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | / |
| | | 計画件数 | 5（0） | 7（2） | 6（1） | 5（1） | 3（0） | |
| | | 実施件数 | 5（0） | 7（2） | 6（1） | 5（1） | 3（0） | |
| | | 実績（％） | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | ○ |
| | 地方公共団体等 | | 平成24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 達成度 |
| | 地方公共団体 | 目標値（％） | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | / |
| | | 計画件数 | 303 | 328 | 278 | 280 | 254 | |
| | | 実施件数 | 304 | 326 | 277 | 280 | 254 | |
| | | 実績（％） | 100.3 | 99.4 | 99.6 | 100.0 | 100.0 | ○ |
| | 公営企業 | 目標値（％） | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | / |
| | | 計画件数 | 482 | 564 | 429 | 431 | 414 | |
| | | 実施件数 | 484 | 564 | 428 | 431 | 414 | |
| | | 実績（％） | 100.4 | 100.0 | 99.8 | 100.0 | 100.0 | ○ |
| | <p>（注1）独立行政法人等についての計画及び実施件数の（）書は、政策効果の検証等特定の事項に重点を置いて実施する実地監査（スポット監査）の件数（内書）です。</p> <p>（注2）公営企業についての計画及び実施件数は、経営状況把握を実施した公営企業数です。</p> <p>（注3）独立行政法人等については、事務年度（7月から翌年6月までの期間）ベースで計上しています。</p> <p>（目標値の設定の根拠）</p> <p>財政投融资対象機関に対するチェック機能の充実において、実地監査に取り組むことは、財政投融资の対象事業の適正な執行の確保、財務の健全性の維持につながり、政策目標を達成する観点から重要であるためです。</p> <p>（目標の達成度の判定理由）</p> <p>上記実績のとおり、実績値が目標値に達したため、当該測定指標の達成度は、「○」と評価しました。</p> | | | | | | | |
| 施策についての評定 | | s 目標達成 | | | | | | |

| | |
|--------------|---|
| 評定の理由 | <p>平成28年度の実地監査においては、従来の財務局等が行う実地監査に加えて、地方公営企業の病院事業に対する実地監査の充実を図るため、医療系の独立行政法人に対する監査のノウハウを持つ本省実地監査官が財務局等と連携し、これまでの償還確実性の確認に加え、経営に係る問題点及び将来リスクの確認を行い、財政投融資の対象事業の適正な執行の確保、財務の健全性の維持に努め、目標値に達する実地監査を行いました。なお、実地監査の結果及び反映状況等については、財政制度等審議会財政投融資分科会に報告の上、公表しています。</p> |
| | <p>この他、地方向け財政融資資金の融資審査の充実を図る観点から、平成17年度以降、財務状況把握を実施しており、平成28年度の地方公共団体の財務状況把握については、モニタリングを行った1,788の地方公共団体のうち、351の地方公共団体に対してヒアリングを行いました。財務状況把握の結果についても、同様に分科会に報告の上、公表しています。</p> |
| | <p>以上のとおり、測定指標が「○」であるため、当該施策の評定は、上記のとおり、「s 目標達成」としました。</p> |

政3-2-5に係る参考情報

財政融資資金等の実地監査について（平成28年6月10日財政制度等審議会財政投融資分科会資料）

(http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_filp/proceedings/material/zaitoa280610/zaitoa280610_3.pdf)

平成27年度地方公共団体の財務状況把握等の結果について（平成28年6月10日財政制度等審議会財政投融資分科会資料）

(http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_filp/proceedings/material/zaitoa280610/zaitoa280610_2.pdf)

| | | | |
|--------------------------|--|--|------------|
| 施策 | 政3-2-6：貸付金の確実な回収とALMの充実等による財務の健全性の確保 | | |
| 測定指標 (定性的な指標) | [主要]政3-2-6-B-1：貸付金の確実な回収とALMの充実等による財務の健全性の確保 | | |
| | 目標 | <p>財政投融資対象機関に対する既往の貸付金の確実な回収を行うとともに、金利スワップ取引（用語集参照）の実施といった措置も講じます。</p> | 達成度 |
| | 実績 | <p>財政投融資対象機関に対する既往の貸付金について、対象事業の収益性が確保されているかなどを財政投融資計画の編成を通じて確認するとともに、定期的に各機関の収支状況をモニタリングしつつ、確実な回収を行いました。</p> <p>また、貸付金の回収が主に均等償還型であるのに対し、財投債及び預託金の償還が満期一括型となっているため、今後の各期間における資産及び負債の満期額の差（マチュリティギャップ）が存在することから、一定の金利変動リスクは引き続き残っており、ALMの観点からはデュレーションギャップの水準を最小化しつつ、マチュリティギャップを縮小することが課題となっています。</p> <p>なお、財政投融資特別会計財政融資資金勘定の積立金については、平成18年度に特例法に基づく国債整理基金特別会計への繰入れが行われて以降、臨時的・特例的な一般会計等への繰入れを行い、さらに平成24年度以降は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）に基づき復興財源として活用された結果、金利変動に対する対応余力が著しく低下しているため、財務の健全性の確保が必要とな</p> | ○ |

| | | |
|--------------|---|--------|
| | <p>っています。</p> <p>これらを踏まえ、財務の健全性を確保する観点から、金利スワップ取引（用語集参照）の実施（取引回数：24回、想定元本：計7,200億円）を通じて金利変動リスクを低減することにより、適切なALMに取り組みました。</p> | |
| | <p>（目標の設定の根拠）</p> <p>財政投融资として、政策的必要性の高い資金需要に的確に対応していくためには、その前提として、貸付金の確実な回収とALMの充実等による財務の健全性の確保が重要なためです。</p> <p>（目標の達成度の判定理由）</p> <p>上記実績のとおり、財政投融资対象機関に対する既往の貸付金について約定通りの確実な回収を行うとともに、金利スワップ取引の実施を通じて金利変動リスクを低減することにより、適切なALMに取り組んだことから、当該測定指標の達成度を「○」と評価しました。</p> | |
| | 施策についての評定 | s 目標達成 |
| 評定の理由 | <p>財政投融资対象機関に対する既往の貸付金について、約定通りの確実な回収を行いました。また、財務の健全性を確保する観点から、金利スワップ取引の実施を通じて金利変動リスクを低減することにより、適切なALMに取り組みました。</p> <p>以上のとおり、測定指標が「○」であるため、当該施策の評定は、上記のとおり、「s 目標達成」と評価しました。</p> | |

政3-2-6に係る参考情報

財政投融资特別会計における金利スワップ取引実施状況（平成28年度）

(http://www.mof.go.jp/filp/reference/zaitou_swap/sw20161001.html)

(http://www.mof.go.jp/filp/reference/zaitou_swap/sw20170401.html)

| | |
|----------------|--|
| 評価結果の反映 | <p>以下のとおり、上記の政策を引き続き実施します。</p> <p>財政投融资計画の策定にあたっては、政策的必要性、民業補完性、有効性及び償還確実性等を精査し、必要な資金需要に的確に対応していきます。各省庁・機関においては、財政投融资計画要求を行うにあたり、要求内容について事前に自ら政策評価を行い、要求に際して自己の政策評価の結果を合わせて提出するよう求めます。要求内容の審査を行うにあたっては、各省庁・機関から提出された政策評価を積極的に活用していきます。</p> <p>また、財政投融资の透明性向上を一層進めるとともに、財政投融资対象機関に対するチェック機能の充実を図っていきます。</p> <p>さらに、財政融資資金の資産・債務管理（ALM）の高度化のための施策を引き続き実施していきます。</p> <p>その他、引き続き、民間では実施困難であるが政策として必要な事業を実施する機関への資金供給の確保と、適切なALMを実施するために必要な経費の確保に努めます。</p> |
|----------------|--|

| | |
|-------------------------|-------|
| 財務省政策評価懇談会における意見 | _____ |
|-------------------------|-------|

| | 区 分 | | 平成26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|----------|-------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 政策目標に係る予算額 | 予算の 状況 (千円) | 当初予算 | 38,259,983,740 | 32,603,169,094 | 37,853,102,935 |
| 補正予算 | | | 23,000,000 | △ 605,854,965 | 3,188,460,438 | / |
| 繰越等 | | | △ 44,700,000 | 72,900,000 | N. A. | |
| 合 計 | | | 38,238,283,740 | 32,070,214,129 | N. A. | |
| 執行額 (千円) | | 35,009,962,425 | 31,169,371,335 | N. A. | | |

(概要)

民間では実施困難ではあるが政策として必要な事業を実施する機関への資金供給の確保と、財政投融资対象事業の重点化・効率化等のために必要な経費です。

(注) 平成28年度「繰越等」、「執行額」等については、平成29年11月頃に確定するため、平成29年度実績評価書に掲載予定。

| | |
|---|--|
| 政策目標に関する 施政方針演説等内閣 の主な重要政策 | 第193回国会 財務大臣財政演説 (平成29年1月20日) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂2016 (平成28年12月22日閣議決定) 第192回国会 財務大臣財政演説 (平成28年9月26日) 未来への投資を実現する経済対策 (平成28年8月2日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2016 (平成28年6月2日閣議決定) 日本再興戦略2016 (平成28年6月2日閣議決定) ニッポン一億総活躍プラン (平成28年6月2日閣議決定) |
|---|--|

| | |
|--|---|
| 政策評価を行う過程 において使用した資料 その他の情報 | 財政政策の状況：平成29年度財政投融资計画、平成27年度財政融資資金運用報告書、 「財政投融资レポート2016」、「財政融資資金月報」(財務省) 等 |
|--|---|

| | |
|--------------------------------|---|
| 前年度政策評価結果 の政策への反映状況 | <p>平成27年度政策評価実施計画の実績評価を受けて、以下の取組を実施しました。</p> <p>財政投融资計画の編成においては、各府省庁・各機関より提出された政策評価や政策コスト分析を活用し、政策的必要性、民業補完性や償還確実性等の観点から見直しを行い、対象事業の重点化・効率化を図りつつ、必要な事業への資金供給を確保しました。</p> <p>財政投融资対象機関に対する既往の貸付金について、適切なモニタリングを行いつつ、約定通りの確実な回収を行うとともに、適切なALMに取り組み、金利変動リスクの低減に努めました。また、政策コスト分析の活用、公表に取り組みました。さらに、PDCAの各段階における情報開示の拡充や実地監査等により、引き続き透明性の向上に取り組みました。</p> |
|--------------------------------|---|

| | | | |
|--------------|------------------------|-----------------|---------|
| 担当部局名 | 理財局 (財政投融资総括課、管理課、計画官) | 政策評価実施時期 | 平成29年6月 |
|--------------|------------------------|-----------------|---------|